◎親鸞上人［1173 - 1263］直筆で読む『教行信証』

　岩波文庫『教行信証』（金子大栄校訂）。また法蔵館から『親鸞聖人真蹟集成』（親鸞上人の直筆を集めたもの）が出版されている。

①、９３ページ。源信『往生要集』からの引用。源信は『法華経（方便品）』9a25から引用。語り手は釈尊。

布, シャツ が含まれている画像

自動的に生成された説明

（　）

（し、**のにて**、のにり、）

**たびとすれば、 にをず**。

②、１２２ページ。親鸞上人作「正信偈」の一節

敷物, 布, 時計 が含まれている画像

自動的に生成された説明

**のはだをすべし**。たののにれども、をて、たてまつらずとも、 **きことくにをらしたもう**といえり。

③、９４ページ。源信『往生要集』からの引用。源信は『勝軍不動明王四十八使者祕密成就儀軌』から引用。「慈眼視衆生」の主語は「不動明王」。また『法華経』の中の「観世音菩薩普門品（観音経）」に「慈眼視衆生」の一節あり58b1。（主語は観音菩薩）

ウォーキング, 古い, 男, 敷物 が含まれている画像

自動的に生成された説明

をもてをそなわすこと、にしてのし。

④、２２０ページ。『大般涅槃経』からの引用。語り手は「諸仏の弟子」。



のに、にとりたまえり。

にるべし、のはれのなり。

⑤、２０８ページ。『大般涅槃経』からの引用。父親を幽閉して殺し、王位に就いた阿闍世王（あじゃせおう）が、その後、罪と病に苦しむ。次の譬え話は、名医である耆婆が阿闍世王に語ったもの。

テキスト, 手紙

中程度の精度で自動的に生成された説明

譬如一人而有七子、是七子中遇病、父母之心非不平等、**然於病子**

**心則偏重**。大王、如来亦爾。於諸衆生非不平等、然於**罪者心****則偏重**。於放逸者仏則慈念。不放逸者心則放捨。

えばしてらん、ののににえば、の、ならざるにれども、に**にてちえにきがし**。、もたなり。のにて、ならざるにれども、に**にてちえにし**。［勝手気ままに振る舞うこと］のにて、ちしたもう。のにはちす。